

～学校長メッセージ～



R 6.4.17 向井畑

令和6年度がスタートして約一週間で過ぎました。今年度は昨年度のメンバーに2人の先生が加わり、ますますにぎやかになりました。家族と同じくらい長い時間を共に過ごす「チーム宮園小」が、楽しく・成長できる職場となるよう、私も頑張りたいと思います。保護者のみなさまどうか一年間ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。令和6年度のスタートに当たって、教職員に次のような話をしました。

《教職員としての基本的な姿勢》

- ・ 子供の未来や可能性を信じる。
- ・ 上手くいかないことを子供のせいにはしない。
- ・ 子供の成長に気づき、ともに喜ぶ。
- ・ 同僚性を大切にする。
- ・ 社会性を磨く。（挨拶、時間厳守、素直、向上心）
- ・ 新しいことに挑戦し続ける。（授業改善、ICT）

『和顔愛語』
直そうとするな、
わかろうとせよ

今年度の学校教育目標は『自分を育て みんなで伸びる』です。宮園小は自由進度学習を中心に、「自立した学び手」を育てることを目標に取り組んでいます。昨年度、「個別最適な学び」とは何か？について改めて考えてみました。自由進度学習は個別最適な学びを実現するための一つの手法ですが、それを支えるものは「学級経営」と「特別支援教育の視点」ではないか？と考えるようになりました。子供たちは間違いなく多様化しており、一斉指導だけでは対応できない子供が多くいます。私たち自身の許容範囲を広げることで、子供たちが安心して学校生活を送れるようになると思います。私たち教職員一人一人が教育的愛情と共通の目標を持ち、組織的・協働的に行動できることを願います。合言葉は「安心感と自己選択」です。先生たちが本気になれば、きっと子供たちに「学校が楽しい！」と言わせることができると思います。

昨年度も何度か話しましたが、私が一つだけ大切にしていること、それは「子供たちに任せる」ということです。乱暴な言い方をすれば「不親切な先生になる」ということです。ちょっと乱暴すぎて誤解を招くかもしれませんが、要するに「おいしいところを先生がとってしまわない」ということです。

子供たちが迷わないように、しっかりとレールを敷いて先生が先頭となり引っ張っていく…確かに安全で効率的かもしれませんが、子供たちは決して先生を追い抜いていくことはありませんし、先生の後をついていけばよいので、自分で考えたり決めたりすることはありません。

私のイメージは、子供たちが進むべき方向を指差しながら、「あそこまで自分の力で行って見たら？困ったことがあったらいつでも相談にのるよ」というス

ダンスです。当然失敗もするでしょうし、自分で考えて行動しなくてはいけないので時間もかかります。でも、その試行錯誤している時こそ成長している瞬間なのでは？とってしまうのです。伝わるでしょうか…？

さあ、一年間の始まりです。4月8日に満面の笑みで子供たちを迎え、3月に満面の笑みで子供たちを見送れるよう、みんなでがんばっていきましょう。

このように職員に語りかけ、宮園小学校が目指す姿を共有しました。保護者のみなさまは、わが子が学校生活を「楽しい」と感じ、「安心感」をもって勉強や運動に取り組むことを願っておられると思います。一人一人が自分の持てる力を発揮できるよう、「チーム宮園」一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

令和6年4月17日 宮園小学校長 向井畑 透